



# 大会関係者の受入施設での管理業務について (新型コロナウイルス感染症対策事業)

警備局

2021年6月30日

# 1. 事業概要

---

## (1) 目的・必要性

大会期間中に訪日する海外関係者は、健康観察アプリのスマートフォンへのインストールなどや、原則として14日間の厳格な行動管理及び宿泊施設待機が義務付けられており、用務先（競技会場、選手村等）以外の移動は禁止事項とされている。

安全安心な大会運営のため、厳格な行動管理が徹底されるには、プレイブックによる自己管理に加え、アプリ情報での確認および隔離（生活）の拠点となる海外関係者ホテルでの行動管理を行い基準違反への抑止力を働かせる必要がある。

プレイブックの実効性を担保するため、健康観察アプリによる確認と宿泊ホテルにおける行動管理を実施する。

## (2) 根拠

プレイブックにおける行動管理（プレイブック）

日本への入国「検査・行動管理・隔離」

- ・東京2020の高いレベルの監督の下で活動し、必要に応じてGPSデータ（本人の同意を得た上で）を使用したり、直接監督したりして、本人の行動を確認すること。
- ・その他の選択肢としては、到着時とその後14日間、宿泊施設に隔離されること。

---

### (3) プレイブックに記載の行動ルールの運用について

#### 【大会関係者の行動管理】

対象 海外関係者

行動管理の範囲 入国14日以内の者すべて

### (4) 本契約の対応フロー

①関係者が特定用務外の使用で外出する際、配置警備員に対して健康管理アプリを提示※

(※) 予め提示する宿泊ガイドラインに基づく。

②健康管理アプリによる滞在期間チェック

→ 【(アプリ画面が) 入国後14日以降の場合】

警備員による追加対応不要、そのまま外出可能。

→ 【(アプリ画面が) 入国後14日未満の場合】

原則外出不可を順守させるため、外出抑制。

※外出先が事前に一定条件下で認められた場所である場合、GPSをオンにさせるなど、行動管理のための適切な担保をとり、一定時間以上戻らない場合、緊急連絡先に通報

## 2. 調達方式等

---

### (1) 調達方式

各警備地域の委託先との特命契約とする

1都3県 : 東京2020大会警備JV

宮城、茨城 : セコム株式会社

北海道、福島、静岡 : 総合警備保障株式会社

### (2) 執行科目

全額コロナ対策費

(既存のコロナ対策予算額を精査し、V5予算内で執行)

# 3. スケジュール

## 【契約方法】

- ・ 第一弾分は7月1日からの業務開始となることから先行して警備依頼を実施。
- ・ 警備JVとの個別契約は通常業務の個別契約書①および、本件のホテル管理（コロナ対策費）の個別契約書②に分けて締結。

